

早稲田大学人間総合研究センター主催シンポジウム

ポストコロナの祝祭を考える —伝統、ヴァーチャル、「^{なまかん}生感」—

2021 年 11 月 6 日 (土) 14:00～

参加費無料 (対面 or ウェビナー)

本シンポジウムでは、祭りやイベントなどの祝祭について COVID-19 の感染拡大による影響を把握し、事態終息後の祭り・祝祭のあり方を人間科学的なアプローチを採用しながら、学際的・実践的に模索を試みていきます。祭りの現状を整理・考察し、特に感染症蔓延の影響を大きく受けた大学祭 (早稲田大学所沢キャンパス祭) の変化と、神聖性が強いが故に中止できない伊勢大神楽を対比させながら問題を浮き彫りにしてゆきます。研究者のみならず学生・一般にも開かれた議論を行う予定です。

報告1 「祝祭×Covid-19=? —2020～21 年の日本の祭り観察から見えてきたこと—」

伊藤純 (川村学園女子大学文学部／専門分野: 民俗学)

報告2 「With コロナのとこ祭: 大学祭の継続と変化」

中川湖杜・岡村真直 (早稲田大学人間科学部 4 年・2020 年度所沢祭実行委員)

報告3 「旅を続ける伊勢大神楽—コロナ禍での活動状況—」

神野知恵 (国立民族学博物館学術資源研究開発センター／専門分野: 民族音楽学)

コメンテーター

出口雅敏 (東京学芸大学教育学部／専門分野: 文化人類学)

三浦哲都 (早稲田大学人間科学学術院／専門分野: 認知科学)

加藤麻樹 (早稲田大学人間科学学術院／専門分野: 安全人間工学)

司会・コーディネーター

竹中宏子 (早稲田大学人間科学学術院／専門分野: 文化人類学)

来場申し込み・ウェビナー参加方法、プログラムなどの詳細はこちらの URL か QR コードで:
http://www.f.waseda.jp/macky/2021fes_sympo/index.html

